

第 1 回佐倉市都市マスタープラン策定懇話会 議事録

日 時	令和 2 年 1 月 30 日（木）午後 3 時～午後 5 時
場 所	佐倉市役所 議会棟 2 階 第 2 委員会室
出 席 者	原委員、塚田委員、鈴木委員、潁原委員、友崎委員、木内委員
事 務 局	小野寺部長、菅澤課長、平野班長、梅澤主査、木勢主任主事 株式会社パスコ 4 名（江上、岩橋、新関、秋元）
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 副市長挨拶 4. 委員紹介 5. 会長の選出 6. 会議の運営について 7. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)佐倉市都市マスタープランについて (2)現況調査の実施状況について 8. 閉会
配布資料	(資料 1) 佐倉市都市マスタープラン策定懇話会委員名簿 (資料 2) 佐倉市都市マスタープラン策定懇話会設置要綱 (資料 3) 会議の運営について (資料 4) 佐倉市都市マスタープランについて (資料 5-1) 現況調査の実施状況について (資料 5-2) アンケート調査結果について
傍 聴 者	1 人

【議事録】

発 言 者	内 容
<p>事 務 局</p> <p>会 長</p> <p>会 長</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 副市長挨拶</p> <p>4. 委員紹介</p> <p>5. 会長の選出 佐倉市都市マスタープラン策定懇話会設置要綱第5条第1項により、原委員を会長に選出。同要綱第5条第3項により、塚田委員を職務代理に指名。</p> <p>6. 会議の運営について 資料3のとおり決定。</p> <p>7. 議事 (1) 佐倉市都市マスタープランについて</p> <p>それでは、これより議事に入ります。会議の議長は、佐倉市都市マスタープラン策定懇話会設置要綱第6条第1項の規定により、会長に行っていただくこととなっております。それでは会長、よろしくお願い致します。</p> <p>それではよろしくお願い致します。今日の次第に議事が2つ用意されておりまして、まず1番目が佐倉市都市マスタープランについて、2番目が現況調査の実施状況についてとなっております。</p> <p>まず、佐倉市都市マスタープランについてですが、事務局より説明をお願いします。</p> <p>※資料説明</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>ありがとうございます。ただいま事務局の方から、都市マスタープランについてということで、マスタープランとは何かということ、それから今回、見直しを行うわけですが、その観点から説明をいただきました。まずはご質問をいただきたいと思います。ご遠慮なくご質問をお願いします。</p>
額 原 委 員	<p>26ページのところで、防災とか減災という言葉があったのですが、ポイントのところで、『災害予防』から被害を最小限に抑える『減災』へ」とあります。こちらは分かるのですが、次の『復興』を見据えたまちづくり」とあるのですが、これは具体的にどういうことか分からなくて、既に何か被災をしていて、その復興をしている途中のところがあるから復興を見据えたまちづくりとっているのか、あるいは、今後何か災害が起こるだろうと想定して、そういうときにも耐えられるような復興というのを考えているのか、既にある復興なのか今後を想定している復興なのかよく分からなかったのので、ご説明いただければと思います。</p>
事 務 局	<p>基本的に、現在佐倉市では被災で復興途中という深刻な状況の部分はありませんので、これに関しては、避けられない自然災害に対して、いかに早く復興できるか、そのためにまちづくりとしてどのようなポイントを抑えていけば復興がスムーズに行えるのか、そういう視点を取り入れていくべきだと考えております。ですので、今ある復興ではなく、将来起こることを想定して、あらかじめ、復興しやすいまちづくりを目指すべきではないかと考えております。</p>
額 原 委 員	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>
会 長	<p>東日本大震災の時にも話題になりましたけれど、事前復興とかそういった考えもあるようですので、そういったところを取り入れたまちづくりを目指すということかと窺えましたが、ぜひよろしく願い致します。</p>
木 内 委 員	<p>都市計画自体、計画ということで、それを担っていくのは人だと思うのですが、計画の中に、人の視点というのがなかなかあらわれてきてないような感じがします。例えば上位計画で人材の活用と結び付け</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>た計画だとか、これからまちづくりを担う人たちと都市計画との連携というのが、なかなか見えなかった。その辺の計画について、公共交通とか住生活などとも少しは関連しているのかと思うのですが、ハードとかシステムのなものとは結び付いているけれども、人材育成だとか担い手育成だとか、これから何十年か行政と地域の市民が都市計画を担っていくという視点というのはどこに連携しているのか、これからそれを考えていくのかをお聴きしたいです。</p> <p>都市マスタープランの位置づけとか、それを踏まえてお答えいただけると分かりやすいと思います。難しいご質問ですが、事務局いかがですか。分かる範囲で。</p>
事 務 局	<p>現在の都市マスタープランもそうですが、なかなか人を育てるという視点が不足している部分ではあると思います。都市マスタープランという大まかな土地利用などの方針を示す中で、ハード的な部分を担うものが、計画のメインになるものだと考えているのですが、人づくりもまちづくりに貢献する一部として、その辺との関連性についても記載していくという方向性は必要かと思っているので、様々な意見をお伺いしながら、今回の都市マスタープランに盛り込んでいければと考えております。</p>
木 内 委 員	<p>上位計画で総合計画があって、その中でソフト分野とかそういったものが書かれていて、それとこの面的なエリア毎の都市計画とを結び付けていくと思うのですが、都市計画のこのマスタープランの中でも人の視点があると、より現実的というか、行政だけでなく市民も一緒になって、このエリアをどうしていきましょうかというところが、みえてくるとと思います。アンケートなどで出てきた意見を落とし込むとは思いますが、それを言った人たちも参画して一緒にやってみましょうという協働の視点が、都市計画マスタープランの中にあらわれてくると、あたたかいマスタープランというか、分かりやすい計画になるかなと感じましたので、ぜひよろしくお願ひします。</p>
事 務 局	<p>今の意見を受けて、今回スケジュールの中にも書かせていただいているのですが、36ページになりますけれど、全体構想があって、地域別構想があって、最後、実現化方策というのがあって、担う人材の</p>

発 言 者	内 容
友 崎 委 員	<p>部分の話はこの実現化方策の辺りで議論のひとつとして出てくることになると考えております。</p> <p>市長が代わって、いよいよ4月から西田体制ができ上がってくるわけですが、平成23年辺りに作ったマスタープランを改定するのですが、西田新市長の色々な言葉があります。例えば、令和13年度までの計画である第5次佐倉市総合計画がスタートします。佐倉市は、「笑顔輝き 佐倉・咲く みんなで創ろう『健康・安心・未来都市』』というのが、年度所感で述べられました。市民カレッジでも強くこれは言っていましたので、これから僕らが作る新しい都市マスタープランの中に、西田体制がどういう意気込みで、どういう目的を持って、どういう将来構想を持っているかということ、西田さんが述べられている「笑顔輝く」というような未来都市構想がありますので、それをぜひ、どこかに入れてほしいと思います。</p>
事 務 局	<p>私も佐倉に住む一員として、個人的な感想ですが、人口減少も現実のものとなって進行して、高齢化も進んでおります。そういった中で佐倉の駅前などをみても、元気がなくなっていると感じている部分もあります。これから人口も減る中で、佐倉をどうやって盛り上げていこうというところ、現実はどう進めていくのがベストなのかというところを、都市マスタープランにも視点として盛り込むことで、元気を取り戻すような計画になればいいかなと考えております。市長の意向を反映するところも必要かと思いますが、素直にまちづくりで元気を取り戻すためにどういった方法を取れるかというところを、都市マスタープランに盛り込んでいければと考えてございます。</p>
事 務 局	<p>補足で、都市マスタープランは都市計画法に基づく計画ということで、都市計画法18条の2に書いてあるのですが、総合計画に即して作られることというのがありますので、総合計画に沿った形で見直しを進めていきたいと思っております。</p>
会 長	<p>総合計画のところは、11ページに1枚ご説明があっただけなのですが、今年4月に改定されたものは出るのですか。今、総合計画はどのような段階ですか。パブリックコメントとかは。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>総合計画の策定状況ですが、11月議会で、議会の方からご意見をいただきまして、これからパブリックコメントを行って、最終的には2月議会の時に最終報告ということで、4月から実施という流れにはなるものと思います。</p>
会 長	<p>今、事務局からあったように、総合計画に即して策定する、都市計画法18条の2だとすると、それはある程度我々にも示していただかないと、それに準拠できないので、そこはぜひお願いしたいです。</p>
事 務 局	<p>次回、3月を予定しておりますので、その時には内容をお示しできるかと思います。</p>
木 内 委 員	<p>先程の質問の関連なのですが、このマスタープラン自体、目標年次が2030年です。この計画に基づいて、生活していく人たちというのは、私の子どもの世代だと思うのです。今ここで色々と改定していく中でも、この計画自体、子どもたちは、なかなか読み解くことができないかと思います。ですから、何か策定の段階で、この都市計画とかマスタープランとか、立地適正化計画なども含めて、小学生とかにも分かりやすく説明するような、あるいは子どもたちと対話できるような機会があると、自分たちのまちを身近に感じることができるのではないかと思います。いろいろなデータが出ており、それらを子どもたちがみることで、人口が減っていて、これから自分のまちも寂しくなっていくかもしれないからどうしようかなと、考えるような仕組みが計画の策定の中にあれば、目標年次に至る過程の中で、関わる方が多くなり、佐倉市というまちに親しみが増える方も多くなって、転出される方も少なくなる、あるいは帰ってくる方も多くなっていくのではないかと思います。その辺は、地域毎に説明を行ったりする際には、やはりどうしても高齢者の方の参加が多くなっていくかと思うのですが、子どもたちにも分かりやすく説明するような仕掛けや仕組みがあるといいと感じます。教育的なところも含めて、将来を明るく語り合うような機会があると、非常にいいまちづくりになるのではないかと感じました。</p>
事 務 局	<p>策定過程におけるお子様の参画という話もございました。今回、市民アンケートを実施しまして、後程、単純集計の結果をご報告させて</p>

発 言 者	内 容
鈴木委員	<p>いただくのですが、16歳以上を対象としております。10年後、活躍される世代の方までということで、対象年齢を下げてアンケートを実施しました。もう少し小さなお子様向けのというご意見については、事務局の中でご意見として検討したいと思います。</p>
鈴木委員	<p>今の木内委員のお話を砕いていうと、将来を担う小さな子たちにも、前もってかみ砕いた都市計画の方策、こうすることで佐倉市は進んでいくんだよということを説きたいということでしょうか。</p>
木内委員	<p>日本が変わっていくなかで、佐倉市がそれと同じように進むのか、佐倉市がこういった明るいビジョンを持って頑張っているということも伝えながら、市として独自でこういうこともやっているとか、こういう政策もあるよということ、都市計画という分野から発信できたり、対話できたらいいなと思っています。</p>
鈴木委員	<p>それは、独自でなくても、いい案ならば、将来を担っていく子たちに動機づけをするのはいいことだと思います。</p>
友崎委員	<p>今の意見ですけれど、明るい未来、こういうことをやるよ、こういったプランもあると言いますが、実際に人口がどんどん減っていく、納税の義務がある生産人口も減っていく、工業団地からみんな撤退していく、農地は荒れ放題、猪まで出てくる、暗い面が相当あります。ましてや10年後、20年後、住生活基本計画をみましたけど、30年後にはこの辺は猪だらけになってしまう。1.4人の子どもの出生率に対し、猪は2.8です。その点からすると、将来ビジョンを語るのはいいのですが、何が悪影響であるのか、何がマイナス要因なのかということも、併せて正確に伝えていかないといけないと思います。</p>
額原委員	<p>私の専門の方から、ひとつお願いをしたい点なのですが、28ページと30ページをご覧くださいますと、28ページにインフラ資産の長寿命化、ストックの活用と書いてあります。それから30ページのところに「歴史的資源の活用」というところがあるのですが、私の中ではこの二つの項目が、いずれ接続してくると考えております。長寿命化、ストックを活かした活用をしていった結果、そうしたものが歴</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>史的に価値のある建造物なりとして新たに活用される、リビングヘリテージと言いますが、そういったものになっていくということが望ましいのではないかと考えておりますので、この①と③が何らかの形で接続していくような計画というのを考えていただければなと思いました。</p> <p>そういった観念がなかったというのが正直なところでして、佐倉の場合、ある程度歴史資産というのが現状では恵まれています。それを残して、観光であるとか産業振興に役立てていこうという考え方と、公共施設総合管理計画の方は、既存の右肩上がりの時代に作った公共施設をこれから維持管理していくコストが、どうしても税収が少なくなっていて足りない、これをどうしていこうというような別の独自の考え方だったのですが、これらをリンクさせて、同じものとして捉えて考えていくという視点も新しい考え方の一部ではないかと思っておりますので、その点はできる限り反映させていけるような形をとっていきたいと思っております。</p>
顕 原 委 員	<p>その他、既にまちの中にある施設を美術館等に活用されている例もございますし、そういったことの応用として、例えばこちらの市庁舎なども、そうした活用を持ちうる建物というふうに考えておりますので、ぜひそういった観点からも、再編成を考えていただければいいなと思っております。</p>
会 長	<p>この25ページから「策定（見直し）のポイント」ということで、今回ここを我々もよく認識して、今までの時代であれば、今までどおりでよかったのですが、これからの時代は、余程知恵を出さないといけないと思っております。今までどおりのやり方ではいけないから、今、顕原委員がおっしゃられたようなこともどんどん取り入れて、何か違った観点を取り入れていかないと、計画倒れに終わるような気がします。そういった点で、私から一言言わせていただきたいのですが、今、建造物の話でしたけれど、いわゆる自然環境としての里山とか自然の景観も、長い間人間が手を加えて作ってきた資産と考えることができるわけです。それを佐倉が共存を目指すと謳っているわけですから、斜面に然り、里山の自然に然りですが、グリーンインフラという言葉もありますので、それらを防災や減災と結び付けること、もしくは持</p>

発 言 者	内 容
塚 田 委 員	<p>続可能な地域づくりに結び付けることも、そういった点から考えられるわけですので、その辺もどこかに入れていただきたいと、これは私の希望ですが、ぜひお願い致します。</p> <p>いずれにしましても、これからの一番の課題は人口減少だと思います。例えば、水道ひとつでもそうだと思います。佐倉市は他の市町村に比べたら、配管等の整備は終わっていますが、人口が減ることによって水道の使用料も上げていかなければいけないというようなことがどんどん出てくると思います。16ページに書いてありますが、人口を維持するということがありますが、それに向けて力を入れてやっていただきたいです。これはプランですから、できないことでも理想に向かって走っていいのかどうか分かりませんが、なるべくできることを進めていただきたいです。私もさっと今日初めて見たのですが、一番はこの16ページのところ、人口の維持が必要かなと思っています。少子高齢化はどの世代においても一番影響してきておりますので、よろしく申し上げます。</p>
事 務 局	<p>人口減少は全国的な流れとして、佐倉市だけ維持する、ましてや増やすことはなかなか難しい時代だと思うのですが、いかに減少を緩やかにし、生まれてくる世代に選んでもらえるようなまちづくりという点で、施策を打っていくことが、人口の減少に対しては一番の方策かなというふうに考えておりますので、その辺の観点で、よりよい都市マスタープランとしてまとめていければと考えております。</p>
会 長	<p>人口減少は日本全体では大きなトレンドとしてどうしようもないことだと思うのですが、おそらく日本の中で、勝ち組と負け組が、これから一層顕著になると思います。知恵を出し合って、魅力的なまちづくりをしているところには、結構若い人が集まって、活気あるまちができているところもいくつか紹介されていることから分かります。ですからその辺りを、この都市マスタープランにどのように入れ込むかというのが、大事であると思います。</p>
友 崎 委 員	<p>それはいい例があります。今、電車の中吊りで、子育ては多古町、待機児童ゼロ、医療費ゼロ、給食費ゼロ、3人産んだら百万円、というのがあります。</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>それがいいかどうかは別にして、多古町は、今取り組んでいるところだと思うのですが、他のまちでもそういった事例があると思いますので、その辺をこの計画にどのように入れ込むかは、また別の視点も必要かと思っております。</p>
木 内 委 員	<p>今まで佐倉市も各市も頑張ってきたと思いますが、もう少し広い視点で考えた時に、例えばこの都市計画図をみても酒々井町と一緒に計画となっていて、酒々井町の合併がうんぬんという話を置いておいたとしても、本佐倉城だとか、佐倉と歴史的に関連の深い地域も多いです。その地域とどのように計画を結びつけてやっていくかという視点というのは、これから先、非常に重要になってくると思います。酒々井町は酒々井町で頑張ってもらっちゃると思いますが、限界がありますし、やはり佐倉との結びつきで得られる価値だとか、エリア全体で共用するものが一緒に結び付いて進んでいくものも今後増えていくと思います。歴史的にみてもそうだし、交通分野でも成田からのアクセスをみると、J Rを使っても、京成を使っても、酒々井町を通らざるを得ないので、都市計画図が一緒であれば、何かしら酒々井町と連携というような視点を踏まえながら、都市計画のマスタープランを考えていくのもひとつ必要な時代なのかなと思っています。それがたぶん検討されていなかったわけではないと思いますが、新しく改定する際には、そういった視点も含め、もう少し外の、例えば、印西だとか八街だとか八千代だとか、そういったところにも少し目を配らせてみて、他の市町村と話しながら連携していくのもありなのかなと感じました。</p>
会 長	<p>事務局いかがですか。</p>
事 務 局	<p>他の分野についても広域連携という視点というのが昨今叫ばれてきているとは思いますが、上位の区域マスタープランに関しては酒々井と一緒にいうところもあるとは思いますが、視点の一部として取り入れるということで、検討はしていきたいと思っております。</p>
会 長	<p>交通とか、ごみも一緒に処分していると思うのですが、そういう意味ではつながりがありますので、今おっしゃった上位の区域マスター</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>プランとの関係で、佐倉だけではなく、周囲のところも視野に入れるのは大事かなと思って伺いました。直接ここに書き込むかは別として、資料などでいただくのは大事だと思いました。</p> <p>先程のお話にもありましたが、例えばごみ処理などは、1市だけでなく広域でやった方が都合のいいもの、そういったものは葬祭場もそうですし、実際事務レベルでやっているものはあるのですが、広域の連携という視点といったものも、これからの時代、必要な部分だと思いますので、事務局の方でも、皆さまに、検討の資料としては、こういった視点も入れていくようにはしたいと思います。</p>
塚 田 委 員	<p>佐倉市の場合は、良いと取るか悪いと取るかは別にして、オール佐倉で何かするというのは非常に難しいです。職員を擁護するわけではありませんが、旧佐倉があつて、臼井があつて、ユーカーがあつて、志津がある。そして鉄道が2本あり、完全に大きなところが5つあつて、みんな文化を持っていて、オール佐倉で何かをやってほしいと市の方から言われても、祭りひとつできない、みんな違います。そういったことがあるので、非常にやりにくいので、この辺を市の職員もクリアしてもらわないとなかなか難しいと思います。それが、例えば四街道であれば、駅前を中心にひとつにまとまるできています。</p>
会 長	<p>8ページに地域別構想というのがありますけれど、ここでは、志津と臼井・千代田、佐倉・根郷、和田・弥富となっていますけれど、そういった昔ながらのまとまりがあつて、それぞれ文化も社会背景も異なっていて、北の方は住宅地で新住民も多い一方で、南の方は昔から住まれて、農林業を営まれている方が多いとか、そういった背景があるので、それをどういうふうにとつてまとめていくかという課題をご提示いただいたと思います。それは今すぐに答えが出ないでしょうがどうでしょう。確かに四街道でシンポジウムをして感じたのですが、すごくまとまりがいいです。ひとつの駅前だけみていけば、大体が網羅できるようなまちの塊も、ここで言うと臼井地区ひとつくらい的位置付けなのかもしれません。それが佐倉だと、やはりJR側と京成沿いで全く違ったり、そういった難しさもあり、いかんともしがたいと思います。やはり難しさを強みに、何かしらやれば転換できることもあるかと思しますので、それはその良さを上手く出していくこと</p>

発 言 者	内 容
塚 田 委 員	<p>でやっていくしかないのではないのでしょうか。</p> <p>他の市町村と同じようにやろうとすると無理があるので、それぞれの地域の良さを上手く活かすことを考えていくことが必要かなと思っています。いろいろなことをやっているのですが、なかなか上手くいかないです。</p>
会 長	<p>そういう意味では、現行計画でも、都市と農村が共生するという位置付けを出しているわけですから、文句としてはそういうことではないのでしょうか、共生というのが何で、どういう形でこのマスタープランに組み込むか、知恵を出さなくてはいけないと思います。</p>
鈴 木 委 員	<p>今、皆さまのお話を伺ってしまして、主に前半の課題は人口問題に関することが多かった。後半の話ですと、地域の発展の違い、文化の違いと色々出てきましたが、マスタープランと銘打っていますので、非常に範囲が広く、意見もあちこち出ています。これを議長さんの方で絞っていただいてやるか、あるいはひとつの提案ですが、これは議事録を作るのでしょうか、意見が出たことに対する佐倉市側の考えをまとめた記録を後日出していただければ、それに対する考え方の整理も、議事の進め方も非常にやりやすくなると思います。事務局の方は大変だと思うけれど、分からないところは分からないでいいと思います。次の課題ですから。お話を聴いていても的が絞れない。マスタープランだから、それでいいのかもしれませんが、今、私が提案したようなことをしていただければ、議論の的も絞りやすいのかなと思います。</p>
会 長	<p>いいご提案をいただいたと思うのですが、事務局いかがですか。議事録は作るのでしょうか、やはり課題を整理していただいて、おそらく専門の方は別として、マスタープランは法律のもとで動く計画ですので、これを守備範囲にすべきものと、そうでないものとあるはずで、それで、議論はいくらしてもよいのでしょうか、入れられるものとそうでないものがありますし、もしくは活かすことができるかもしれませんし、その辺りを整理していただいて、戻していただければ、市民の方や私などは理解しやすいのかなと思いますので、それはぜひお願いしたいです。時間も限られていますが、よろしくお願</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>ます。</p> <p>本日は初回の会議で、資料は当日に配付という形でしたが、次回以降は、事前に資料をお渡しして、その上で、前回会議内容を確認の後、その日の議題の説明に入っていきというような方式で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
会 長	<p>今日のところは、自由に、今日初めてお目にかかる方もいらっしゃるのでは、こういう人物だとお互いを分かっていたかという意味では良かったかなと思うので、ぜひその辺りは、もう少しご意見を伺って、次に行きたいと思っております。</p>
塚 田 委 員	<p>佐倉にはいいところがあります。国立の歴史民俗博物館、市立の美術館がある、それと川村記念美術館もあり、年配者が来てくれます。子どもを産んでくれる方は来ないです。この辺を逆手に取って考えられたらいいと思うのです。そういう年配者、団塊の世代の悠々自適な人たちですけど、佐倉はいいところですねとおっしゃって頂けます。じゃあ、そのお子さんを連れてきて、孫を産んでくれるかという、そうはいかないのです。自分たちだけなのです。だからその辺を上手く逆手に取って何か。</p>
会 長	<p>おそらく成熟社会になれば、千葉市、佐倉より東京寄りの、ほとんど緑のない住宅地の多いところと、佐倉あたりから東もしくは南の、そういったところとの違いが出てきて、価値観が変わるような形になれば、すごく魅力あるまちになると思うので、その辺りを計画に活かす、この計画だけでなく、本当は総合計画でやっていただかなくてはいけないのですが、ぜひお願いします。</p>
塚 田 委 員	<p>お知恵を出していただいて。</p>
会 長	<p>大体よろしいでしょうか。この都市マスタープランの資料4について、ご質問と内容の確認をいただきましたけれども、社会環境の変化も踏まえて、都市と緑の共生、歴史文化資産の活用、超スマート社会の実現というのは、まだご意見が出ていませんでしたが、具体的にどういうことでしょうか。超スマート社会の実現をこの都市マスタープ</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>ランに活かすというのは、30ページにありますけれど、書いてあるとおりでしょうか。「新技術を活用し、暮らしの快適さと効率が両立した持続可能な都市づくり」をすることなのではないでしょうか、あまりピンとこないです。</p> <p>最近のまちづくりの方向性でよく聞かれるような言葉でございまして、事務局の方で見直しをしていくに当たって、こういった視点が考えられるのではないかと、ひとつの方向性として提示しており、現時点で具体的にこうといったものはございません。</p>
会 長	<p>私自身が、情報と付く大学におられますので、一言申しますと、これはすごく可能性を持っていて、今まで難しかったことができる可能性がある、色々ところで言われています。それをこの都市マスタープランにどう活かすかは、私には今のところアイデアはないのですが、その辺は知恵を出し合って、せっかく掲げていただいたのであれば、これの是非は議論いただかなくてはいけないでしょうけれど、何かやれそうな気がします。ぜひ、これは若い木内さんとか、色々とおありだと思っておりますので、アイデアを出していただければと思います。</p> <p>時間が気になってきましたので、もうひとつの議題、現況調査の実施状況についてというのをご説明いただかなくてはならないのですが、今の資料4はよろしいですか。とりあえず、最後にもし何かあれば時間を取ることに致しまして、議事の(2)ですけれど、現況調査の実施状況について、事務局より説明をお願い致します。</p> <p>(2) 現況調査の実施状況について</p>
事 務 局	<p>※資料説明</p>
会 長	<p>どうもありがとうございました。今、現況調査の実施状況についてということをご説明いただきましたけれど、この場で何かご質問があればお願い致します。</p>
友 崎 委 員	<p>策定懇話会 第1回資料5-1の6ページの上段にあります「市街化調整区域の一部でみられる滲み出し」という言葉を私は知らなかったのですが、意味を説明してください。上の人口動向と今後の見直し</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>の中の2番目の「滲み出し」についてです。</p> <p>佐倉市は市街化区域に、立地適正化計画などでも人口を集中させていこうとしているところなのですが、この市街化区域の縁辺部で、小さな開発などがあり、そこで人口が増えたりとか、そういった現象を滲み出しと表現しています。</p>
会 長	<p>右側の図で、太線で描いてあるところが市街化区域だと思うのですが、その周りに、これは平成22年から27年の人口増減ですので、増えているところが、この中で留まっていれば、市街化区域だけで伸びているということですが、その周りのところにも人口が増加しているところがあるのを、ここで滲み出しと呼んでいるのだと理解したのですが、それでよろしいでしょうか。</p>
鈴 木 委 員	<p>旧集落ですね。</p>
会 長	<p>もしくはスプロール的に開発した小さな団地ができて、そこが増えるということかなと思ったのですが、色々あるとは思いますが。</p>
鈴 木 委 員	<p>色々あるが、ただ、これは認められていることですから。</p>
事 務 局	<p>そうですね。手続を取って開発した部分ではありますが、市街化調整区域の中でも人口が伸びる部分という結果が出ているところがあるということです。</p>
会 長	<p>良い悪いというよりもそういう現象を言ってらっしゃると。 他にも色々のご質問やご意見があると思うのですが、資料5は膨大なので、別途何か質問表でも作っていただいて市に寄せるとか、今日初めて拝見した資料ですので、改めてお目通しいただいて、ご質問とかご意見をお寄せいただいたらいいのではないかなと思います。</p>
事 務 局	<p>こちら、資料5は、どちらかと言うと結果の報告という部分が色濃いので、あまり議論ということでは今日は考えておりません。分析ということで、次回の会議で資料としてまたご提示をさせていただきたいと思います。</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>以上で用意した議事（１）と（２）が終わったのですが、何か委員の方からあればお願い致します。</p> <p>（意見なし）</p>
会 長	<p>これで懇話会を終了させていただきます。ご進行にご協力いただきましてありがとうございました。お疲れ様でした。</p> <p>8. 閉会</p>